

街中を子どもの学びの場  
・子どものための学びの場  
・フリースクールとの連携

地域とともにあり、地域  
づくりに参画する学校  
～共生社会の中の学校

子どものための学校・学級づくり・質の高い授業づくり  
～たくましく・やさしい夢のある子どもを育てる～

自分の人生を豊かに  
生きる教職員

時間削減の目標						
	R6年	R7年	R8年	R9年	R10年	R11年
小学校	35	34	33	32	31	30
中学校	42	39	36	33	30	30

縄文のビーナスプラン②  
地域の特色と教育的財産を生かした小中一貫教育と  
探求的な学び

茅野市働き方改革の目標  
子どものための学校・学級づくり・質の高い授業づくり  
—教職員が教育活動に専念でき、自分の人生を豊かにするための教育環境—  
—時間を生み出す工夫をしていく—

縄文のビーナスプラン①  
共生社会をつくり、子どもたちの  
多様性を包み込む学校

茅野市の働き方改革の具体

児童相談所・警察・  
外部機関との連携

働き方改革の核  
～学校と教育委員会との役割分担と協働～ 子ども・家庭支援の充実と  
子ども家庭への支援・相談は **育ちあいちの** 学校・職員の支援の充実と  
5 19 精神的負担の軽減

市の社会福祉部門との連携

学校の取組

地域と共につくる学校

- 1 コミュニティ・スクールの充実 4 17  
(地域コーディネータによる運営)  
・子どもの学びのための支援  
・学校施設整備への支援  
・見回り(交通安全・不審者) 1
- 2 ボランティアの方による学びの支援 15
- 3 広報資料・ウェブサイトの作成 7

永明中では、コミュニティ・スクールの教育活動支援部  
でキャンプ等の体験活動や、読書教育支援部で読み聞  
かせ、企画部でスチューデントティーチャー活動などの  
支援をいただいています。

学校業務の効率化・軽減化

- 1 勤務時間の客観的管理・市教委の把握
- 2 校務のICT化 教師用タブレットとクラウド利用とネットワーク化
- 3 業務支援員の配置 16
- 4 会議、提出物の精選化
- 5 年間計画、日課表の改善(研究、授業準備の時間の確保、定時退庁日の設定)

永明中では、年間計画や日課を見直し、教科会や特別支援の情報共有などの会合を定期的  
に確保します。また、月曜日と水曜日は部活動を行わず、生徒との対話や学習アドバイ  
ス、生徒理解のための時間として、一人ひとりの子どものニーズに対応していきます。

教育課程の改善

- 1 1時間単位の授業の弾力的運用  
(中学校)
- 2 小学校教科担任制
- 3 教具・教材の共有化

永明中では、授業の弾力的な運用を行い、45分授業を実施し  
ています。1時間の授業で浮いた5分を6時間分まとめ取りし  
た30分のスタディタイムを使って、教育相談や単元テスト、ソ  
ーシャル・スキルトレーニング、情報教育等を行います。

働き方改革への市教委として教育活動への支援 ～リードから支援とアドバイスへ～

- 1 読書活動応援センター(読書指導への支援)
- 2 ICTサポートセンター(ICT教育のため  
12名を配置) 8
- 3 発達支援センターと特別支援教育支援員の  
配置(40名)
- 4 公民館等の公共機関による出前講座等によ  
る支援

- 5 いじめ対応の学校支援員会 ・アドバイザーの配置 (弁護士、医師、心理  
の専門家・学識経験者)
- 6 部活動の地域展開 (土日の部活はR8年度に完全展開 平日の部活動は  
R13年度までに完全展開) 13
- 7 不登校支援 サポートルームの設立(6サポートルーム、7ミニサポートルー  
ム)まなざし 県費1名 市費10名の教員配置
- 8 給食指導、食育への栄養教諭、栄養士による指導 14

教職員のメンタルヘルス

- 1 ストレスチェックの活用
- 2 市独自のストレスチェックテスト
- 3 教職員の相談窓口(育ちあいちの)
- 4 教委による外部相談・医療紹介